

第98回

全国高校野球
青森大会

光星 中盤に攻勢

三農・新田、惜しい6回



▽2回戦(はるか夢)
三本木農

0010 0000
0010 0004
1000 ×
60

八学光星

(三)新田、下道、橋場

(八)和田、櫻井、安藤、向井、奥村

▽三塁打 小淵(八)▽二塁打 新田(三)花岡(三)

▽暴投 向井(八)

▽審判 福永球(成田喜1B)奈良(2B)藤本(3B)

【評】八学光星は六回、4得点とリードを広げ、七回には徳田の左前小淵の連続適時打などで、適時打で1点を加え、駄

目を押しした。4投手の継投は、三本木農打線を2安打に封じた。

三本木農は、先発新田が八学光星の強打線を打たせて取る丁寧な投球で、五回まで1点に抑えたが、六回に捕まった。

【三本木農―八学光星】6回裏、八学光星1死二、三塁、花岡が左中間に適時二塁打を放ち3―0と突き放す。はるか夢

5回まで苦戦1得点

○：昨夏準優勝の八学光星。三本木農に6―0と快勝したものの、五回まで1得点と序盤は苦しい展開だった。

中盤で空気を変えたのは5番花岡。六回、「とにかく全力で振ろう」と低めのカーブをフルスイングして左中間に運び、走者2人をかえした。

昨秋と今春の県大会は、指や膝のけがで思うようなプレーができなかったという花岡。「気持ちを切り替えて(夏に)調子を合わせた。最後なので、チームが勝てるよう頑張りたい」と気合を入れた。